鹿児島カレッジがスタート

大学生が鹿児島県で体験と交流
鹿児島の魅力をFBで情報発信

関西と中国地方の大学生に新幹線を利用して訪れる鹿児島の旅を体験してもらい、学生視点で体験メニューや鹿児島の魅力をソーシャルメディアで情報発信し若者のための旅行企画も提案する「鹿児島カレッジ」が注目を集めている。鹿児島県の行政や観光関係者でつくる「観光かごしま大キャンペーン推進協議会」とJR西日本の共同事業。フェイスブック上に今年7月に公式ページを開設し、鹿児島カレッジの概要や事前の各大学の取り組みの紹介をスタート。学生による体験実習は9月3日から6日まで3泊4日で鹿児島県内で行われた。

大阪大学　上甑島のしまなび（ガイドツアー）

関西大学　霧島トレッキング

神戸松蔭女子学院大学　砂むし風呂

神戸大学　シーカヤック

岡山大学　そば打ち体験

広島経済大学　キャニオニング

新幹線車内で交流

最終日には感想を発表

鹿児島カレッジ概要

体験実習には6つの大学から約50人の学生が参加。参加したのは大阪大学（訪問エリア薩摩川内市・甑島（こしきじま））、関西大学（訪問エリア霧島市・湧水町）、神戸松蔭女子学院大学（訪問エリア指宿市・南九州市）、神戸大学（訪問エリア南さつま市・枕崎市）、岡山大学（訪問エリア出水市・さつま町）、広島経済大学（訪問エリア鹿屋市・垂水市）。学部は理系あり、文系あり、研究テーマも、まちづくりやマーケティング、若者の旅などさまざま。

鹿児島カレッジでは、様々な成果や結果を期待されている。近年、若者の旅行離れが指摘されており、旅の持つ魅力を若者たちにライフスタイル提案していくことは重要であること。また、近年コミュニケーションツールとして、ソーシャルネットワークサービスを若者たちは自由に使いこなす。鹿児島カレッジの旅で得た感想をフェイスブック上のクチコミで広げてもらうことも狙いだ。

若者達が自ら魅力を発見

鹿児島カレッジでは、新幹線で行く鹿児島の旅の魅力を学生達に提案した。新幹線車内では、シートを回転させて6人や4人のボックスシートで、鹿児島カレッジの打ち合わせをしたり、車窓や駅弁を楽しむ。参加している他の大学の学生、教授、JR西日本のスタッフも混ざって、交流を深めた。桜島では、参加者全員で体験実習を行った。桜島の地質についてガイドから説明を受け、桜島の海岸で温泉掘り体験を全員で行った。一通りの説明を受けて学生たちは、温泉掘りに挑戦した。この全員参加のメニューで、学生が新しい温泉掘りの魅力を見つけ出した。目立ったのは2つのグループ。ひとつは温泉を掘る場合は、「海に近い方が温泉の温度が高い」ことを調べていたグループが海に近い岩場で温泉を掘り、約45℃の温泉を掘り当てた。もうひとつのグループは、周囲の石を集めて積み上げ、またそばにあった流木を重ねて、海を眺められる足湯を作った。温泉掘り体験のガイドから提案や支持されずに自分たちで、もっと楽しめる温泉掘りのメニューを示すことができた。

大学別の体験実習

行程の2日目と3日目は大学ごとに鹿児島県内6エリアに分かれて体験実習が行われた。

大阪大学が訪れた甑島のある薩摩川内市は、鹿児島県の北西に位置する。九州新幹線の川内駅がある。甑島（こしきじま）は、甑島列島として、北東から南西に連なる上甑島、中甑島、下甑島といくつかの島から構成される。近年は、人気漫画でテレビドラマ化された「Dr．コトー診療所」のモデルとなったことで、知名度が向上。山陽・九州新幹線直通効果もあり、観光客が増加傾向にある。

関西大学の訪れた霧島市は鹿児島県の中央部に位置する。霧島連山や霧島温泉郷などで知られる全国的に知名度の高い観光地。湧水町は、鹿児島県北部の内陸地域に位置する。現代アートの屋外美術館「霧島アートの森」があり、今年は、鹿児島県や霧島市、JR西日本と連携して、アートをテーマにした大型観光キャンペーンが展開された。神戸松蔭女子学院大学が訪れた指宿市は、薩摩半島の南端にある。指宿温泉が有名で、全国有数の観光の町。南九州市は、鹿児島県薩摩半島の南部にある。特攻隊ゆかりの地として、平和学習ができる知覧特攻平和会館やホタル館「富屋食堂」がある。近年は民泊の受け入れも盛んに行っている。

神戸大学が訪れた南さつま市は、鹿児島県薩摩半島西岸に位置する市。市の北西部には、日本三大砂丘のひとつに数えられる吹上浜が広がる。南西部（旧笠沙町～旧坊津町）にかけて美しいリアス式海岸が見られる。枕崎市は、薩摩半島南西部に位置し、南部に東シナ海を臨みカツオの水揚げが全国有数の枕崎漁港が知られる。鰹節の生産高が日本一。

岡山大学が訪れたさつま町は、県北部の内陸地域に位置する。観光スポットとしては、観音滝公園がある。出水市は、県の北西部に位置する。九州新幹線の出水駅がある。観光では、ツル飛来地として知られ、国の特別天然記念物に「鹿児島県のツルおよびその渡来地」として指定されている。民泊の受け入れも行っている。

広島経済大学が訪れた鹿屋市は、鹿児島県の南東部、大隅半島の中央部に位置する。国立の体育大学である鹿屋体育大学や、海上自衛隊鹿屋航空基地がある。観光スポットしては、霧島ヶ丘公園の「かのやばら園」や鹿屋航空基地史料館がある。垂水市は、鹿児島県（離島を除く）の中部、大隅半島の北西部に位置する。鹿児島市から桜島を挟んで東側向かい側にあり、鹿児島湾に面している。

新幹線での移動や観光、体験プログラムに挑戦する様子は随時フェイスブック上で公開され、賛同を示す多くの「いいね！」を集めた。

旅の感想を発表

最終日は、城山観光ホテルでオリエンテーションが行われ、大学ごとに感想が発表された。大阪大学は「上甑島では、地元の若手のガイドの案内で訪れた島の暮らしが印象に残った。下甑島は、自然が豊かでもっと滞在したかった。体験メニューも含めて未整備に感じた」という意見を発表。

岡山大学からは「観光客が受身となる観光や体験が多く、学生が行きたいところとのギャップがあった。ギャップを埋めるような提案を考えたい」と提案。

関西大学は「地元が、観光PRについて、受け身の考えだった。霧島の知られていない魅力の情報発信について考えていきたい」と意気込みを見せた。

神戸大学からは「地元の人との交流で、地元への愛着が強いことがわかった。私たちも魅力的と感じたので、カタチにしていきたい」と定番でない旅行商品の誕生を期待させる意見を述べた。

神戸松蔭女子学院大学は「フラダンス体験、マンゴー収穫体験、砂むし風呂体験など様々な体験ができた。女性向けの知覧の旅行を考えてみたい。指宿・南九州エリアは、リピーターが少ないと聞いたので、リピーターが増えるプランを提案したい」と女性向けの旅行商品やリピーター獲得を目指すという。

広島経済大学は「かのやばら園で、薔薇カレーや薔薇アイスなど珍しいものを食べた。とても美味しくみなさんにおすすめしたいと思った。一番の成果は人との繋がり。多くの人たちの協力で、私たちの旅を支えてもらっていることを実感できた。鹿屋市を第2のふるさとのように感じている。若者がどんどん来るようにがんばっていきたい」と地元や関係者への感謝も述べられた。

旅行プランの提案

今後は10月に中間報告会、11月に成果報告会を開く予定。成果報告会には、旅行会社を招き、学生から旅行プランの企画が提案される。JR西日本営業本部の小倉課長は、「参加者の皆さんが発信する鹿児島の魅力が、多くの人を旅へといざない、関西・中国地方と九州の交流がさらに拡大することを期待しています」という。鹿児島カレッジで誕生した若者向けの旅行プランはJR西日本の旅のHP「JRおでかけネット」で紹介していく予定。

キャンペーンやきっぷ、列車などについては
JRおでかけネット　検索　へどうぞ。
http://www.jr-odekake.net/

鹿児島カレッジの
フェイスブック公式ページ
http://www.facebook.com/kagoshimacollege